

一般国道54号(可部バイパス)建設に伴う埋蔵文化財  
トンガ坊城跡発掘調査通信

# とんがぼ

第5号

(財)広島市文化財団  
文化科学部文化財課

山城の施設を検出しました。

雪の降る中も調査は進み、いつの間にか季節はすっかり春になりました。これからは、調査を行うには暑くもなく寒くもない、すごしやすい気候がわずかな間続きます。すぐに蒸し暑い梅雨、燃えるような長い夏が来るのですが・・・。

現在、トンガ坊城跡の調査は、遺跡のある尾根の上を全面的に掘り下げて、郭<sup>くるわ きりぎし</sup>や切岸(下記参照)などの山城に関する施設を検出しました。これからは、尾根の上にある建物跡や土坑<sup>どこう</sup>などの遺構や斜面の<sup>たてぼり</sup>豎堀などの施設の検出に移っていきます。

## 検出した山城の施設

遺跡のある尾根の上からは、郭(土地を削ったり盛ったりして造った平坦面)や、切岸(敵に攻められにくいように、土地を急な角度に削ったり盛ったりして造った斜面)などの山城に関する施設を検出しました。斜面には豎堀が数本あることが確認できました。

また、尾根の上には約15軒の弥生時代の住居跡、古墳、石棺、土坑などのさらに古い時代の人々の生活した跡がたくさんあることがわかりました。



・上空から見たトンガ坊城跡(航空写真)

右側が尾根元(山側)、左側が尾根先(町側)、数字は右のページの写真を撮った場所です。点線の辺りには豎堀があります。なお、土が丸く黒くなっている場所には弥生時代の住居跡があります。



一番下から見た遺跡  
尾根元に向かって6つの郭と切岸がそびえ立っています。なお、手前の切り株のある辺りに古墳があります。



そびえ立つ切岸  
郭と郭の間の切岸(斜面)は高い場所で約2.5mもあります。簡単には登ることは出来ません。



一番上の郭面  
尾根の中央の郭を囲むように帯状の郭が巡っています。



尾根元から見た遺跡  
遺跡の上からは大林～三入～可部の町並みが一望できます。

トンガ坊城跡発掘調査に関するお問合せ  
財団法人広島市文化財団文化科学部文化財課  
広島市東区光町二丁目15番36号  
TEL082-568-6511  
ホームページ <http://www.mogurin.or.jp>  
メール [hbb@mogurin.or.jp](mailto:hbb@mogurin.or.jp)  
発掘調査現場直通 090-6433-6743

#### 「鹿角ストラップづくり」

日時：平成18年5月5日  
午前9時～午後4時

定員：先着1000名

場所：広島市立安佐動物公園

ゴールデンウィーク中のこどもの日に、動物園の野外ステージで鹿の角を使ったおしゃれなストラップ作りのイベントを行います。参加費はなんと**無料!**